

報道関係者各位  
プレスリリース



2017年01月06日  
浄土真宗本願寺派

世界遺産や国宝級のお寺で“今と未来を生きる智慧”を学ぶ  
**浄土真宗本願寺派による「スクール・ナーランダ」を、  
2017年2月・3月に京都/富山で15歳～29歳対象に開催**

開宗からおよそ800年となる浄土真宗。その一派である浄土真宗本願寺派は、これから社会に出ようとする10～20代に向けた新しい学びの場となる「スクール・ナーランダ」を開校いたします。2017年の舞台は京都（2017年2月4日（土）・5日（日）/本願寺及び伝道院）と富山（2017年3月4日（土）・5日（日）/飛鳥山善興寺、他）。僧侶に加え、森本千絵（アートディレクター）、環ROY（ラッパー）、観山正見（前・国立天文台台長）、内藤礼（美術家）など、多様な分野の専門家を講師に迎え、実施いたします。



本願寺 御影堂

◎本願寺ホームページ <http://www.hongwanji.or.jp>

◎スクール・ナーランダFacebookページ <https://www.facebook.com/HonguanjiNalanda/>

## ■「スクール・ナーランダ」開校の背景

21世紀に入って15年余り、これからの世界の未来を予測することがとても難しい時代をわたしたちは生きています。

このような社会や価値観の変化の中で、選択肢は多様になりましたが、ゆるがない「軸」を作ることには簡単ではありません。人類が積み重ねてきたさまざまな叡智 - 科学や芸術、哲学、宗教、2,500年続く仏教。それらが、生きるための「軸」を形づくるヒントにならないだろうか。そう考え、「スクール・ナーランダ」では、仏教をはじめ多様な分野の叡智を集め、それらを横断的に学び、双方向に対話をし、実際に体験できる場をめざします。

※「ナーランダ」という名称について…「蓮のある場所」を意味する「ナーランダ」。蓮は知恵の象徴であることから「知恵を与える場所」としての意味も持ちます。5世紀、北インドにあった、仏教だけでなく医学、天文学、数学などを研究する総合大学「ナーランダ僧院」が名前の由来です。蓮のモチーフは「スクール・ナーランダ」のロゴデザインにも反映されています。

## ■スクール・ナーランダの特長

《多様な学びの場、お寺の本物の空間で》

科学、芸術、哲学、経済学、社会活動、仏教、等々、分野を縦横断する講義。世界遺産に認定されている京都の本願寺をはじめ、全国の宗門寺院の歴史ある空間が教室です。

《双方向の対話や体験プログラム》

講師と参加者、参加者同士の双方向対話型の授業や、各地域の魅力や課題に触れるフィールドワークやワークショップを開催します。

《学生スタッフとともに企画・運営》

2016年度開催の京都と富山の大学生が、スタッフメンバーとして僧侶とともに企画運営を進めています(2016年12月現在 12名)。若い世代のニーズを知るとともに、学生メンバーにとっても実践を通じた学びの機会になります。

## ■開催概要

《スクール・ナーランダ 2017 Vol.1 京都》

日時 : 2017年2月4日(土)・5日(日) 10:00~17:30

会場 : 本願寺及び伝道院(京都市下京区堀川通花屋町下ル)

定員 : 60名/日

対象 : 15歳~29歳

参加費 : 1日2,000円、2日間(両日) 3,000円(両日昼食付き)

お申し込み締め切り : 2017年1月30日(月)



本願寺 伝道院

<講師> ※講師プロフィールとタイムスケジュール詳細はP5~6参照

2月4日(土)…天岸浄圓(浄土真宗本願寺派僧侶)、高橋英之(認知科学者)、  
森本千絵(アートディレクター)

2月5日(日)…小池秀章(浄土真宗本願寺派僧侶)、環ROY(ラッパー/音楽家)、  
川瀬 慈(映像人類学者)

### <テーマ：わけへだてと共感>

厳しい修行を必要とする僧侶、金品を寄進できる裕福な信者が救われるとされた時代にあって、老若男女、貧富、賢愚、職業などを問わず、すべての衆生を救いのめあてとする阿弥陀如来のみ教えを示した親鸞聖人。「わけへだて」をしない多様性を肯定する教えは、多くの人たちの希望となってきました。

私たち人類は、「他者と共感して社会を形成する」能力を持っています。同時にそれは、「共感」する集団以外を認めない「わけへだて」を生み出すことにもつながります。自己と他者あるいは世界との「わけへだて」と「共感」について、ロボットや人工知能など新しい技術や音楽・人類学・仏教など、多様な視点から考えます。

会場となる本願寺は、ユネスコ認定の世界遺産であり、国宝や国の重要文化財を数多く有しています。スクール・ナーランダでは、通常は非公開のそれらの建造物をめぐる特別解説ツアーも行います。その空間に積み重ねられてきた日本の歴史と文化を体験できる貴重な機会です。

### 《スクール・ナーランダ 2017 Vol.2 富山》

日時 : 2017年3月4日(土)・5日(日) 10:00~17:30  
会場 : 飛鳥山善興寺、他(富山県高岡市中田4500-1)  
定員 : 50名/日  
対象 : 15歳~29歳  
参加費 : 1日2,000円、2日間(両日) 3,000円(両日昼食付き)

お申し込み締め切り : 2017年2月20日(月)



飛鳥山善興寺(開基716年)

<講師> ※講師プロフィールとタイムスケジュール詳細はP7~8参照

3月4日(土)・・・太田浩史(真宗大谷派僧侶)、観山正見(天文学者)、内藤礼(美術家)  
3月5日(日)・・・飛鳥寛静(浄土真宗本願寺派僧侶)、能作克治(金属鋳物メーカー)、  
島谷好徳(鍛金職人)

### <テーマ：「土徳 - 土地からのいただきもの」が育むものづくり>

富山県高岡市は、400年以上続く鋳物技術で日本の仏具の95%を製造する「仏具の里」。実直で勤勉な職人たちの気質は、豊かな自然と「真宗王国」と呼ばれるこの地の精神風土(土徳)から生まれるものです。

戦中戦後、富山に疎開していた板画家・棟方志功は、「富山では、大きないただきものをしました。それは、『南無阿弥陀仏』でありました」と語っています。この精神風土は、棟方の師であり宗教学者の柳宗悦にも大きな影響を与え、「民藝思想」の誕生につながりました。土徳の風土の中で伝統の技を受け継ぐ富山の職人たちの魅力と課題や他力=人智を超えた「はたらき」と芸術表現との関係について学びます。

会場の善興寺では、富山時代の棟方が遺した最後の大作など、他では見られない作品に出会えます。さらに、富山の民藝ゆかりの場所や伝統産業に従事する職人たちの工房も訪問します。

## 《お申し込み方法(京都・富山会場共通)》

### <お申し込み方法>

「浄土真宗本願寺派 子ども・若者ご縁づくり推進室」宛に以下の必要事項をご記載の上、メールまたはFAXにてお申し込みください。

### <必要事項>

氏名、年齢、希望日、住所、連絡先電話番号

### <お申し込み先>

浄土真宗本願寺派 子ども・若者ご縁づくり推進室  
〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル 本願寺内  
TEL : 075-371-5181  
FAX : 075-351-1211  
Email : goen@hongwanji.or.jp

※参加費は当日受付にてお支払いください。

※先着順。定員になり次第、締め切りといたします。

※個人情報の取り扱いについて：申し込み者の個人情報は、当派が管理し、また当派より委託を受けた委託先は、本企画の実施運営に関わる作業のみを目的として使用いたします。個人情報は、契約に基づく委託先を別として第三者には提供いたしません。

## ■スクール・ナランダ 2017(浄土真宗本願寺派 現代版寺子屋事業)

主催 : 浄土真宗本願寺派 子ども・若者ご縁づくり推進室

協力 : 本願寺／飛鳥山善興寺／浄土真宗本願寺派 高岡教区

企画・運営 : 子ども・若者ご縁づくり推進室／有限会社エピファニーワークス／  
株式会社モーフィング／学生メンバー

アートディレクション&デザイン : 株式会社オバケ、mém

## □参考資料；講師プロフィールとタイムスケジュール詳細

《スクール・ナーランダ 2017 Vol.1 京都》

日時：2017年2月4日(土)・5日(日) 10:00～17:30

会場：飛本願寺及び伝道院(京都市下京区堀川通花屋町下ル)

テーマ：わけへだてと共感



国宝 飛雲閣...金閣、銀閣とともに京都三名閣の一つ。秀吉が建てた聚楽第(じゅらくだい)の一部ともいわれており、三層からなる楼閣(ろうかく)建築です。通常非公開の貴重な建造物をめぐることができます。

お昼は、浄土真宗の精進料理をご用意いたします。浄土真宗の法要の際にいただく特別なお料理です。塗りの高御膳や椀で召し上がっていただきます。

精進料理屋「矢尾治」による、お斎(とき)

献立...向付け(胡麻豆腐)、煮物(高野豆腐、蓮根、金時豆、落、梅麩)、和え物(ほうれん草胡麻和え)、お汁(白味噌仕立て)、ご飯、香の物

\*写真はイメージです。

<タイムスケジュール> \*タイムテーブルは変更になる場合があります。

### 2月4日(土)

10:00～12:00 僧侶の解説による本願寺ツアー

(阿弥陀堂、御影堂、書院、飛雲閣、唐門等。以上、すべて国宝)

12:00～13:00 昼食(お斎(とき):浄土真宗の精進料理)

13:00～14:20 授業① 高橋英之

14:30～15:50 授業② 森本千絵

16:00～17:30 授業③ 天岸浄圓+講師全員による ディスカッション

### 2月5日(日)

10:00～12:00 本願寺ツアー

12:00～13:00 昼食(お斎(とき):浄土真宗の精進料理)

13:00～14:20 授業④ 川瀬 慈

14:30～15:50 授業⑤ 環ROY

16:00～17:30 授業⑥ 小池秀章+講師全員による ディスカッション

## <講師プロフィール>



### 天岸浄圓 あまぎし・じょうえん(浄土真宗本願寺派僧侶)

1949年生まれ。龍谷大学文学部真宗学科卒業。本願寺派宗学院卒業。行信教校研究科卒業。本願寺派輔教。本願寺派 布教使。行信教校講師。大阪市西光寺住職。主な著書に『浄土真宗のキイ・ワード - ナンマンダブツの26章-』『浄土真宗の 生き方-愚禿を名のった親鸞聖人-』(探究社)、他。



### 小池秀章 こいけ・ひであき(浄土真宗本願寺派僧侶)

1966年生まれ。龍谷大学大学院博士課程単位修得(真宗学)。平安中学校・高等学校非常勤講師(宗教科)、京都女子 中学校・高等学校教諭(宗教科)を経て、現在、龍谷大学非常勤講師。本願寺派輔教。本願寺派布教使。山口市教證寺衆 徒。主な著書に『高校生からの仏教入門 - 釈尊から親鸞聖人へ - 』(本願寺出版社)、『仏教に学ぶ - 生徒と共に-』(探究社)、他。



### 川瀬 慈 かわせ・いつし(映像人類学者)

1977年岐阜県生まれ。国立民族学博物館助教。京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科博士課程修了。エチオピアの音楽・芸能をはじめアフリカの無形文化に関する人類学研究、および民族誌映画制作に取り組む。代表作に『ラリベ ロッチ』、『精霊の馬』、『Room 11, Ethiopia Hotel』など。



### 環ROY たまき・ろい(ラッパー、音楽家)

1981年宮城県生まれ。これまでに最新作『ラッキー』を含む4枚のCDアルバムを発表。フジロックフェスティバルなど国内 外の様々な音楽祭に出演。その他、パフォーマンス作品やインスタレーション作品、映画音楽などを制作。鎮座DOPE-NESS/U-zhaan/YUKI/サカナクションなどのコラボレーションも多数。



### 高橋英之 たかはし・ひでゆき(認知科学者)

大阪大学大学院基礎工学研究科特任講師。ロボットや自然現象(神様や仏様)に心を感じ取る人間の認知メカニズムについて、心理学、神経科学、情報科学など様々な観点から学際的な研究を行う。最近では、人間と人間、人間とロボットのコミュニケーションの中で生み出される新しい価値の創造メカニズムの認知科学的理解とその知見を応用した社会を元気づけるロボット開発に興味をもって研究を推進している。



### 森本千絵 もりもと・ちえ(コミュニケーションディレクター、アートディレクター)

1976年青森県三沢市生まれ。武蔵野美術大学卒業後、博報堂入社。2006年に最年少で東京ADC会員となる。2007年に独立し、goen°(ゴエン)設立。企業広告、Mr.Childrenはじめ、多くのミュージシャンのアートワークやPV演出、ドラマや映画、ダンス公演の宣伝美術や商品デザイン、書籍の装丁デザインなど幅広く手掛けている。

## 《スクール・ナーランダ 2017 Vol.2 富山》

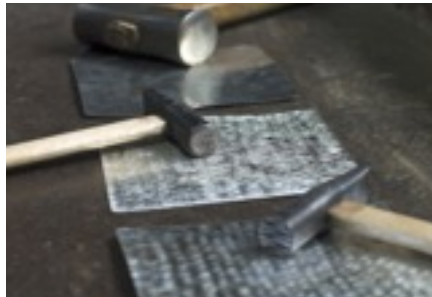
日時 : 2017年3月4日(土)・5日(日) 10:00~17:30

会場 : 飛鳥山善興寺、他(富山県高岡市中田4500-1)

テーマ: 「土徳 - 土地からのいただきもの」が育むものづくり



善興寺では、富山時代の棟方志功が遺した大作の数々をご覧いただけます。



### 工房見学

シマタニ昇龍工房...江戸後期から脈々続く鑿子職人の家で育った初代和吉が、明治42年創業し、鑿子(けいす:寺院用おりん)作り一筋、一子相伝により仏教伝来の伝統技法を今に伝えております。



### 鑄物体験

高岡の地に400年伝わる鑄造技術。伝統的な「砂型」での金属鑄物作りを体験します。

<タイムスケジュール> \*タイムテーブルは変更になる場合があります。

### 3月4日(土)

10:00~11:30 授業①棟方志功や民藝と浄土思想(太田浩史)

12:00~13:00 昼食(地域のお料理)

13:00~15:00 授業②棟方志功や民藝ゆかりの場所見学

15:30~17:30 授業③講師全員によるディスカッション

### 3月5日(日)

10:00~11:30 授業④Aグループ:鍛金工房見学、

Bグループ:鑄物体験

12:00~12:45 昼食(地域のお料理)

13:00~14:30 授業⑤Aグループ:鑄物体験、

Bグループ:鍛金工房見学

15:00~16:00 授業⑥能作克治、島谷好徳

16:10~17:30 授業⑦飛鳥寛静+講師全員によるディスカッション

### <講師プロフィール>



#### 太田浩史 おおた・ひろし(真宗大谷派僧侶)

1955年富山県生まれ。真宗大谷派大福寺住職・日本民藝協会常任理事・となみ民藝協会会長。大谷大学文学部卒。2007年から日本民藝協会常任理事を務める。「土徳」をモットーに、地域の風土やお講を大切にされた教化の必要性をうたえる。



### 飛鳥寛静 あすか・かんじょう(浄土真宗本願寺派僧侶)

1974年富山県生まれ。浄土真宗本願寺派善興寺住職。中田保育園副園長。2002年米国カリフォルニア州パークレー市のGraduate Theological Union(宗教大学院群)の仏教大学院にてMA Program修了。阪神淡路大震災、9.11同時多発テロ事件、東日本大震災などを通じて平和問題や支援活動に取り組む。



### 能作克治 のうさく・かつじ(金属鋳物メーカー)

1958年福井県生まれ。大阪芸術大学芸術学部写真学科を卒業後、新聞社勤務を経て1984年に株式会社能作に入社。2002年に代表取締役社長に就任し、翌年より自社オリジナル商品の開発に着手。国内に10店舗の直営店があり、アジアや欧米など海外にも積極的に展開している。2016年革新的な経営により「藍綬褒章」受章。



### 島谷好徳 しまたに・よしのり(鍛金職人)

明治42年に創業以来、寺院用の「おりん」を専門に製造してきた「シマタニ昇龍工房」の四代目。“金鎚で叩く”ことにより金属の板を叩いて形を整え、音を調律するという伝統技法を今に伝える日本有数の職人。最近では、叩く技術を応用して開発した、折り紙のように曲がる錫のプレート「すずがみ」が大ヒット商品となる。



### 観山正見 みやま・しょうけん(天文学者)

1951年東広島市生まれ。広島大学学長室特任教授、前・国立天文台台長。京都大学大学院理学研究科博士課程修了。専門は理論天文学で、星・惑星系の形成過程、系外惑星の探査などを研究。浄土真宗本願寺派の僧侶でもある。著書に「新しい宇宙の探求」(岩波書店)、「太陽系外の惑星に生命を探せ」(光文社)、など。



### 内藤 礼 ないとう・れい(美術家)

1961年広島県生まれ。「地上に存在することは、それ自体、祝福であるのか」をテーマに制作をしている。1991年、「地上にひとつの場所を」で注目を集め、1997年には第47回ベネチア・ビエンナーレ国際美術展の日本館にて同作品を展示。パーマネント作品として2001年「このことを」家プロジェクト・きんざ(直島)、2010年「母型」豊島美術館がある。

内藤礼『このことを』2001年 家プロジェクト「きんざ」直島  
写真：森川昇